

1 点検・評価の概要及び実施方法

豊田市教育委員会では、豊田市教育大綱に掲げためざすべき教育の姿の実現にむけて、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、豊田市教育委員会が所掌する事務を適切に執行しているかについて、教育委員会自らが事業の点検・評価を行います。また、特に重点的な事業については、外部の有識者や教育委員の意見・助言を参考にしながら、担当課へのヒアリングや現地視察を通して、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表しています*。

*「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に規定

<第4次豊田市教育行政計画の進捗状況>

	進捗状況			
	順調	概ね予定通り	遅れ	完了
重点事業 全12事業	3	7	2	0
基本事業 全29事業	13	10	4	2
全体	16 39%	17 41%	6 15%	2 5%

重点事業と基本事業を合わせた全41事業の進捗状況は上記表の通り、「順調」が39%、「概ね予定通り」の事業が41%で、「遅れ」の事業が15%となりました。

<重点事業と評価の実施対象年度> 12事業を3か年に分けて実施

重点施策名	重点事業名	2022	2023	2024
自らの可能性を広げる力の育成	「主体的・対話的で深い学び」推進事業			○
	ICT活用・整備推進事業	○		
	子どもの読書活動推進事業			○
誰もが安心して自分らしく学べる場の確保	きめ細かな教育推進事業		○	
	外国人児童生徒等教育事業	○		
	学校施設長寿命化改修事業			○
	いじめ・不登校対策事業			○
郷土を愛し、生涯学び、活躍できる機会の創出	特別支援教育の推進事業		○	
	WE LOVE とよた教育プログラム推進事業	○		
	ものづくり教育プログラム事業		○	
家庭・学校・地域の共働の推進	コミュニティ・スクール/地域学校共働本部推進事業		○	
	地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業			○

2 点検・評価の結果

【評価区分】

- A：今後も現状（計画・予定）通り事業を進めることが妥当。もしくは、予定通り完了
- B：事業内容や事業手法に改善を行う余地があり。より一層の効率化やコスト削減、成果向上に努める必要がある
- C：事業内容や事業手法の大幅な見直しが必要。取組内容の一部廃止や実施主体の変更など、事業内容の大幅な見直しに努める必要がある
- D：事業の廃止や休止、事業規模の大幅縮減など、事業のあり方について抜本的に検討する必要がある

<点検・評価実施委員による評価及び主な意見>

重点施策名	重点事業名	評価
自らの可能性を広げる力の育成	ICT活用・整備推進事業	A
<p>■有識者・教育委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のICT活用指導力の向上に向けて、学校訪問やヘルプデスクの設置、タブレット上のFAQサイトを設けるなど、教員がすぐに相談できる体制が整えられていること、全校で一斉に推進するための研修の見直しや教員の技能等に応じた研修が推奨されていることが評価できる。 ・ICT支援員の増員とスキルの向上が必要である。今後は、ICT機器の活用が、どの程度探究の機会・時間を増やし、教員の働き方を変えるのかという効果を測る段階になるため、ICTの活用が児童生徒の学びの充実や変容にどうつながっているのか、効果の分析を行い、活用方法、内容の充実に努めて欲しい。 <p>■今回の点検・評価に関する意見への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員については、人員不足があるため、一気に国基準までは難しいと考える。学校ごとの必要感を調査で把握し、対応していく。また、FAQサイトの更なる充実を図り、学校の困り感の減少を図りたい。 		

重点施策名	重点事業名	評価
誰もが安心して自分らしく学べる場の確保	外国人児童生徒等教育事業	B
<p>■有識者・教育委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレスクールやことばの教室といった場の理解が進んでおり、入国後・入学前の指導・支援体制が充実してきていることは評価できる。 ・ことばの教室への長距離通学について、令和元年度の点検・評価でも課題としたが、依然として対策がとられていない。通学支援制度の導入やオンラインに対応した教育プログラムの導入・開発、交通機関の利用しやすい施設の増加など、通えない児童生徒を少なくするための対策を速やかに検討すべきである。 ・外国人児童生徒等の教育において、受け入れ側の多文化理解と寛容さが大変重要であり、やさしい日本語の普及や多文化理解を促進する事業・研修など、子どもたちや地域に対して、日本語指導支援と併せて充実させて欲しい。 <p>■今回の点検・評価に関する意見への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職も含めた多文化共生に関する教員研修や教育国際化推進連絡協議会と連携した学校間の情報共有についても推進していく。 		

重点施策名	重点事業名	評価
郷土を愛し、生涯学び、活躍できる機会の創出	WE LOVE とよた教育プログラム推進事業	B
<p>■有識者・教育委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育資源や関係する地域の方と触れ合うことで、豊田市に関心・愛着を持ち、豊田市の未来を考えるきっかけとなる点が良い。 ・子どもたちが自分のふるさとを知り、自分自身のアイデンティティを確立することは、将来を見据えた教育を行う上において、とても重要である。一方で、地域の学習体験が単発で終わらないように、「もっと知りたい」が学ぶ意欲へ、「もっと地域をこうしたい」が地域の愛着へ繋がるようなプログラムにすることが望ましいと考える。問題解決的な学習として、発見（気づき）・探究（つながり）・分析（振り返り）という学びの過程を取り込めれば、良いプログラムになると感じる。 ・事業目標であるめざす姿「子どもが地域に関心・愛着をもち、生涯学び続ける楽しさや主体性」を、どのようなプロセスで育んでいくか、評価の指標設定やより詳細な効果に分かるデータがあると良い。 <p>■今回の点検・評価に関する意見への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も作成したプログラムを、WELOVE とよた教育プログラム推進委員が、自校で実践に取り組むことで既存プログラムを検証し、適切に評価し、子どもたちの探究的な学びに繋がるよう改善を図っていく。 		